

事業所名: グループホーム「東海の里」

作成日: 令和5年12月18日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	入居者の重度化が進み、日常生活では入浴時に入居者、職員の双方に負担が大きくなっている。	環境整備を行い、双方にかかる負担をできるだけ少なくしていく。	入浴日や入浴回数の見直しを行なっていく。また入浴を安全に行うための備品の購入など行なっていく。	6ヶ月
2	12	入居者の重度化が進むなか、職員数の不足を感じる事が有る。その為、職員が疲弊しているように感じる。やりがいや向上心をもって働く余裕がない。	職員が働きやすいと思える職場環境作りを行なっていく。	業務内容の見直しを進め、簡素化出来ること、統一できること、省くことが出来ることなどを取り纏め、効率の良い業務を行う。	6ヶ月
3	19	コロナウイルス感染症の感染状況によっては、長期間にわたり面会が出来ない状況が有り、今後いつ面会中止になるか分からない。	ご家族へ積極的な面会の実施を促していく。また、面会中止になる基準をお伝えするなどしていく。	新型コロナウイルス感染症の感染状況は宮崎県発表の情報を毎週確認し、その時の感染状況に合わせて面会を実施していく。またその他の感染症の情報収集も行い実施していく。利用料のお支払いに來られた時など、面会を促していく。	12ヶ月
4	6	身体拘束は安全を確保するために行う時以外は行っていないが、施設の敷地外に出られる方が居られる為、継続的に門扉が閉められている。	終日、門扉が開けられている環境を目指す。	現在は、スタッフ数に余裕がない為、見守りが十分にできない状況にある。スタッフ数にゆとりができ、十分な見守りが出来るようになれば、門扉を解放する。気分転換の散歩に行くなどの支援を行っていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。